Vol.58　ディミニッシュド・アルペジオに慣れる為のフレーズ

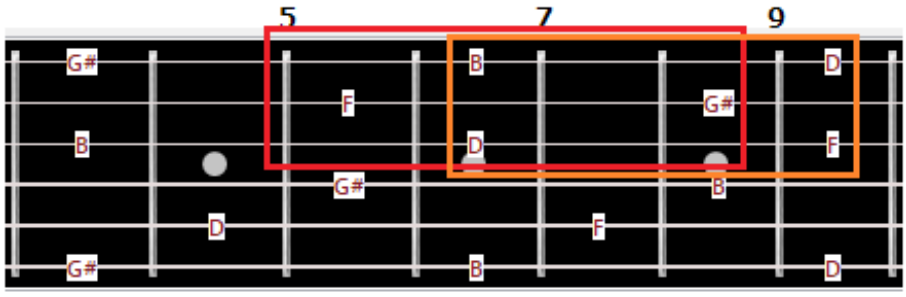
『10 分トレ』vol.58、始めていきましょう。

今回は、教科書の vol.58 から始まっている、ディミニッシュド・アルペジオに関連したトレーニングをやっていきます。

音の並びが特殊なので、パッと弾ける様になるポイントを掴んでおきましょう。

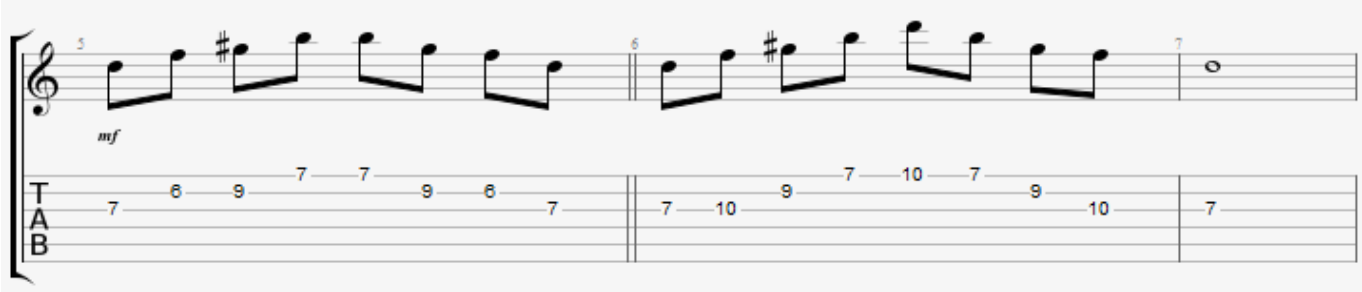
まず、弾くポジションとしては、key=Am の時、A ハーモニックマイナーが出てくる事を想定した G♯のディミニッシュド・アルペジオです。

図 1、G♯ディミニッシュド・アルペジオ



他のテキストでも紹介していますが、この内、赤とオレンジで囲った部分が、形を覚えやすく、使いやすいので、まずはそのまま弾いてみましょう。

譜例 1、G♯ディミニッシュド・アルペジオ、1～3 弦間

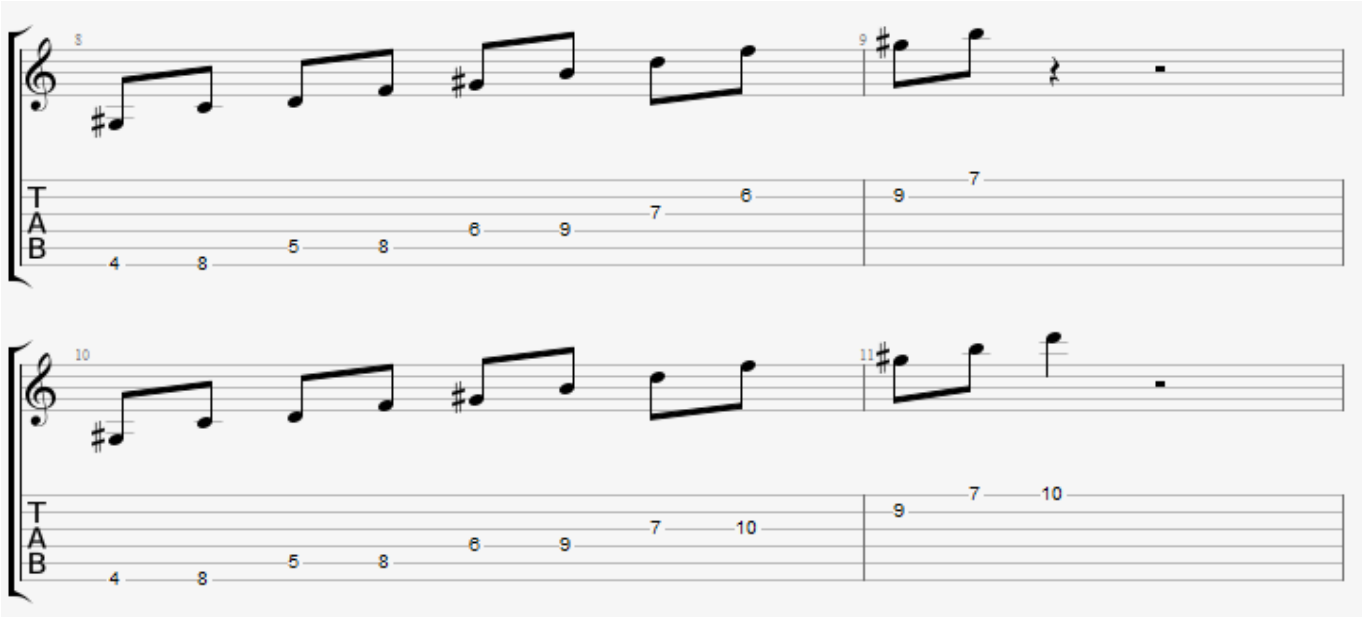


1 小節目が赤枠内、2～3 小節目がオレンジ枠内ですね

これらを基準に、6 弦の G♯音から両者に派生するスケーリングを覚えてしまいましょう。

譜例 2、G♯ディミニッシュド・アルペジオ、2 パターン

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved



6～4 弦まではどちらも同じで、3 弦から先ほどの譜例 1 のパターンに分岐していきます。

譜例は上行のみですが、上がりきったら後は下降もしておいてください。

とりあえず、このポジションが弾けると他のパターンにも進みやすくなるので、指板を見なくても弾ける様に、手に馴染ませておきましょう。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved